アテネ中心部（コロノス）での爆発事件の発生

2026年10月22日
在ギリシャ日本国大使館

〇報道によると、10月21日午後3時半頃、アテネ市コロノス地区（Kolonos）、プラトノス通り（Platonos Street）で爆発事件が発生し、警察官と民間人の計4人が負傷しました。
〇警察によると、薬物取引に関する通報を受けた警察官が建物内に置かれた袋を確認したところ爆発が発生したということです。
〇最新情報を報道等で確認するとともに、警察による捜査や規制が行われている場所には近づかず、不審な状況を察知した場合は速やかにその場を離れてください。
〇アテネ市内等では、アナキストや犯罪組織等による爆発物事案が散発的に発生しています。事件に巻き込まれないよう、渡航前には可能な限り宿泊先や訪問先の治安・地域情報を確認するとともに、放置された荷物に不用意に触ることなく、外出時には常に周囲の状況に注意を払うなど、安全確保に努めてください。

＜英語対応可能な緊急電話＞
〇ギリシャ・ツーリスト警察　1571
〇ヨーロッパ緊急電話　112（消防・救急も対応）

（参考）
＜テロ、無差別殺傷事案等に遭遇した場合の一般的な留意事項＞
【コンサート会場、競技場、空港等の閉鎖空間】
〇会場には時間より早めに入る、終了後はある程度時間を置いてから退出するなど、人混みを避けるよう努める。
〇セキュリティの確保されていない会場の外側や出入口付近は危険であり、こうした場所での人だまりや行列は避けるようにする。空港等では、人の立入りが容易な受付カウンター付近に不必要に近寄ったり長居したりせず、セキュリティ・ゲートを速やかに通過する。
〇不測の事態の発生を念頭に、出入口や非常口、避難の際の経路等についてあらかじめ入念に確認する。
〇パニック状態となった群衆の中で負傷するおそれがあるため、周囲がパニック状態になっても冷静さを保つように努める。
【爆弾、銃器を用いたテロに遭遇した場合】
〇直ちにその場に伏せる。
〇周囲を確認し、可能であれば、銃撃音等から離れるよう、銃弾等を防げる遮蔽物を活用し、低い姿勢を保ったまま速やかに安全なところに退避する。閉鎖空間の場合、出入口に殺到すると雑踏事故などの二次的な被害に遭うこともあり、注意が必要。
〇爆発は複数回発生する可能性があるため、爆発後に様子を見に行かない。
【刃物を用いたテロに遭遇した場合】
〇犯人との距離を取る。周囲にある物を使って攻撃から身を守る。

＜海外安全対策参考サイト＞

外務省海外安全ホームページ

https://www.anzen.mofa.go.jp/

広域情報「欧州での抗議活動を受けた注意喚起」

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo_2026C052.html

海外旅行のトラブル回避マニュアル

https://www.anzen.mofa.go.jp/pamph/pdf/toranomaki.pdf

在ギリシャ日本大使館　安全情報

https://www.gr.emb-japan.go.jp/itpr_ja/security_menu.html

在ギリシャ日本国大使館（領事部）

EmbassyofJapaninGreece

46,EthnikisAntistasseosSt.,15231Halandri

電話：210-670-9910,9911FAX：210-670-9981

メール：consular@at.mofa.go.jp

ホームページ：https://www.gr.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html